

月刊 熱血介護！

認知症の中核症状・ストレスの原因と向き合う



護の仕事は「感情労働」と言われ、メディアでも虐待の実態が多く取り上げられています。

家族や介護職員が抱えるストレスの原因のひとつとして認知症の方とのトラブルがあります。皆さんも認知症の方との関わりに苦手意識を持っていませんか？ここで重要なことは「認知症の方だから大変。」ではなく、「認知症の行動・心理症状に対応することが大変。」という正しい認識をすることです。

認知症の方でも行動・心理症状がほとんど出ることなく穏やかに過ごされている方はたくさんおられます。つまり、介護職員は認知症の方が抱える中核症状・ストレスと向き合って行動・心理症状を和らげる関わりや原因追究が必要となります。

「認知症が進行したね。」「認知症だから仕方ないよね。」とあきらめることなく、次のように認知症の方が抱えるストレスの原因を整理しながら考えていくことで、改善へのヒントが見えてくるかもしれません。

一、身体的要因

便秘・痛みや痒みがある・喉が乾いている・寝不足等

いつもお世話になっております。

「月刊熱血介護！」は、当ホームの活動内容や介護現場での成果、認知症に関するお役立ち情報などを発信していきます。是非、ご覧くださいませ。

二、環境的要因

部屋が寒い・暑い・物音がうるさい・知らない人がいて怖い等

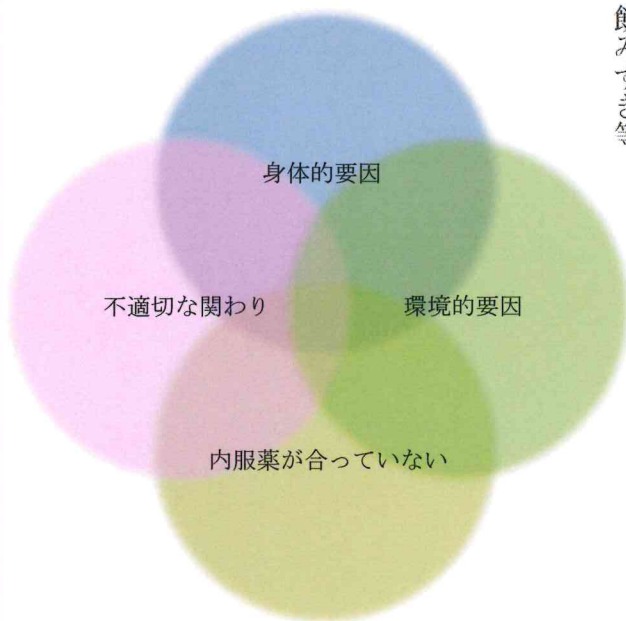
三、不適切な関わり

虐待や身体拘束が疑われること・介護放棄等

四、内服薬が合っていない

興奮状態になる・意欲がなくなる・飲み忘れや飲みすぎ等

【認知症の方が抱えるストレス】



熱血介護 (スタッフ BLOG)

株式会社 照和

検索

作成者：高橋 良



デイホーム 照和